

議会報告会 会場報告書

担当班： 1班 班代表者：向井

概要			
地区名： 味間地区 日時： 令和5年5月26日（金） 19：00～：21：00 場所： 四季森西館研修室 参加人数： 11人(男9人・女2人)	【出席議員】	(1) 開会あいさつ： 向井 (2) 議会報告： 小島 (3) 質疑応答： 小島・足立 (4) 意見・提言等： 向井・足立 (5) 閉会あいさつ： 足立	挨拶・総括： 向井 司会進行： 足立 報告： 小島 記録： 栗山 山田 会場（マイク）： 荒木

【主な質疑】

質疑・意見	回答
政務活動費は少ないのではないかと。交通費も不足するのでは。	コロナ禍で視察研修の受け入れ先が無かったことが、支出減の要因です。広報費はニュースなどの発行費用です。
少子化対策で現状を変更する予定はあるのか。子育て応援給付金もあるのだから、待機児童をなくす対策をとってほしい。	保育士の確保が難航していますが、一方で「マイ助産婦制度」も設けられました。出産手当金の増額も実現していますし、第3子出産にも20万円の手当があります。
議員定数の削減はどう考えているのか。少ない人数でも市民の意見をくみとることが大事だと思う。市民から調べてほしいことを依頼された議員がなかなか手をつけずに1ヶ月くらい半ば放置した事例もあると聞いている。	定数については1年半前に議会で調査研究し、議論を行った結果、現在の18人定数を堅持するという結論となりました。今後も検討は続けていきます。
市役所の中に「審議会」がいくつあるかご存知か。名前だけの人、発言も無い人が審議委員になっている。予算の無駄遣い。	審議会は59件あります。

<p>(2部 担い手不足について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この3年間「祭り」が開けなかった。住民の高齢化と住宅地域の空き家化が進んでいる。自治会に入らない入居者も増えてきた。築80年の公会堂が更新時期に来ている。 ・農業の担い手不足は、味間地区も同じ。耕作放棄地自体は少ないが(10%以下)、年々増えている。味間地区では、大規模農園や農業法人に預ける家が多く、農業をする個人農家が少なくなっている。農機具が高額で、一軒では賄えない。 ・自治会役員のなり手、次世代の担い手がない。 ・転入者を増やすためにもっと空き家情報が必要。 ・人口増加策を考えてほしい。 ・自治会などへの助成があっても、その後のサポートなど、サポート体制がない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムなどアジアの国の人たちはコミュニティーを作っている。地域住民が交流の場を作っても、外国の人たちは来てくれなかった。市が「交流の場」を作ってほしい。 ・言葉の通じない外国の人たち向けに、市の窓口には日本語への翻訳表を設置していたはずですが、今はないと思われるので復活させるべき。 ・弁天地区は付き合いのないアパートの賃貸住まいの人が多く、コミュニティーがない。協議費はいただいているが、アパート管理者が戸数分をまとめて自治会に支払うので、誰が払っているのかも分からない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・通勤が大変で不便だと感じる。電車の本数を増やしてくれるよう、JRに働きかけてほしい。駅からのバスも不便である。 ・JR篠山口の西口が飲食店もなく寂しい。これから国際博と言っているのに、これではどうかと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、一人暮らしの女性を多く知っている。大山地区の人だが、集落の中での負担が大きいと聞く。色々なことを抱えて苦しい人がたくさんいる。市民の幸せを思って、何かあればすぐにとんで行くような、市民のために動く議員であってほしい。 	<p>いただいたお言葉は真摯に受け止めて、どの議員に相談してもらっても、しっかりとお応えできるよう努力してまいります。</p>

・議会は目標もなく、場当たりの印象。議会としてのビジョンが見えてこない。論ずることや、考えは違っても、どの方法でいこうなど、議会として、ある程度方向性があってもよいのではないか。

・議会はまるで学芸会。台本原稿を読んでいるだけのやりとりで、いつも、通り一遍。学芸会をしているようにしか見えない。

・議会の役割は行政のチェック機関と政策提言です。

・議員が一般質問で政策提案し、それが執行された政策も少なからずあります。議会の一般質問の様子は、ライブ中継もあり、過去の録画視聴可能です。